

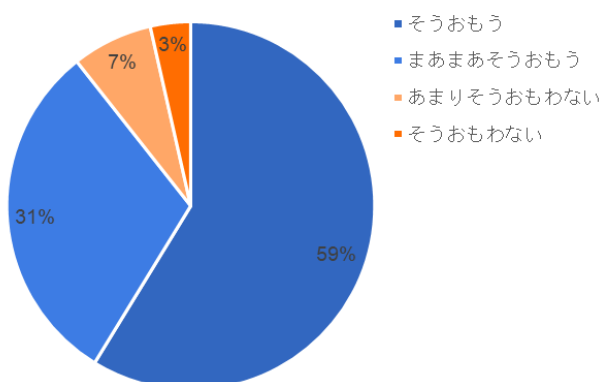
後期 児童アンケート 集計結果

R 7 . 1 . 2 2
学校自己評価委員会

先生方、ご協力ありがとうございました。学校自己評価の児童アンケート結果について、集計結果をお伝えします。前期と比較すると、肯定的な意見の割合に大きな変化がなかった設問が多かったですが、一部変化のあったものもありました。来年度にいかしていきましょう。

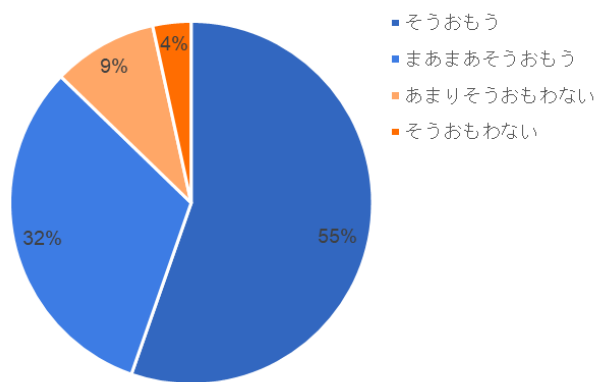
前 期

1.学校は楽しいですか

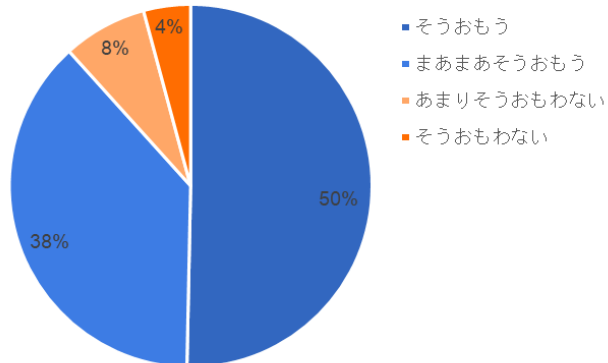


後 期

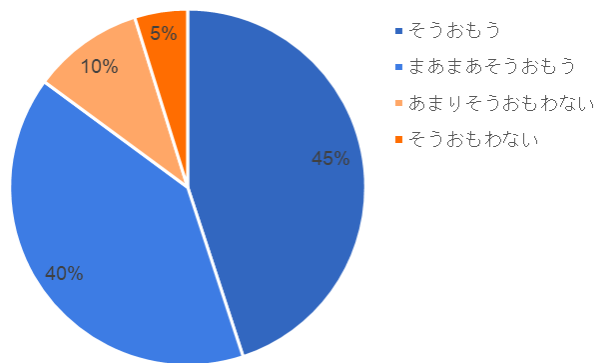
1.学校は楽しいですか



2.いろいろな先生と学習するのは楽しいですか。

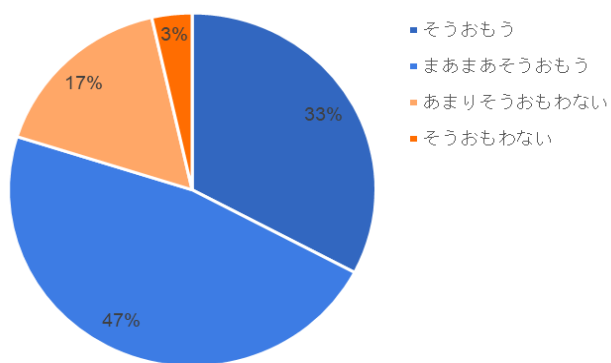


2.いろいろな先生と学習するのは楽しいですか。

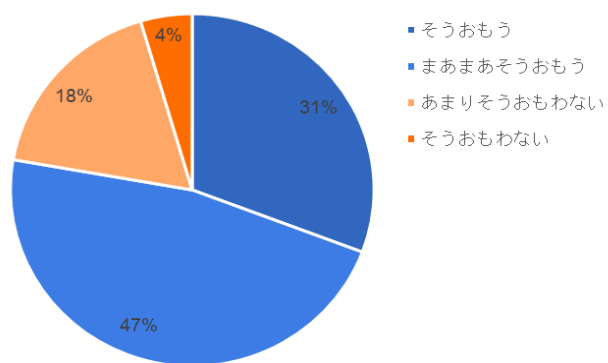


肯定的な回答全体の割合は大きく変化はありませんでしたが、「そうおもう」の回答が減少しました。1年という長い期間の中で、数多くの学習や人間関係での学び等を経て、満足度が低下してしまったのではないかと推測します。今後は、より子どもたちの身近な存在として関係する職員だけでなく、全職員と情報を共有しながら子どもに寄り添っていく支援体制を作っていく必要があります。

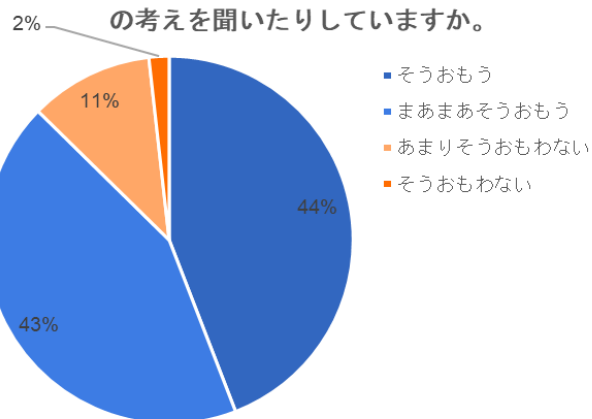
3.授業中、自分の考えを伝えたり、友だちの考えを聞いたりしていますか。



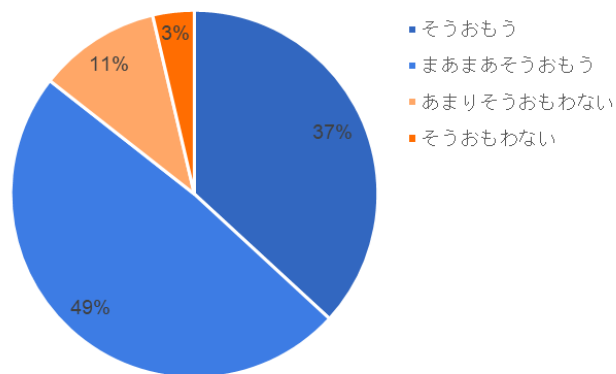
3.授業中、自分の考えを伝えたり、友だちの考えを聞いたりしていますか。



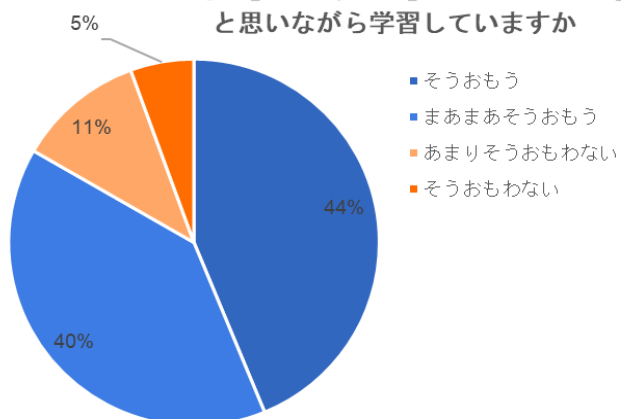
4.授業中、自分の考えを伝えたり、友だちの考えを聞いたりしていますか。



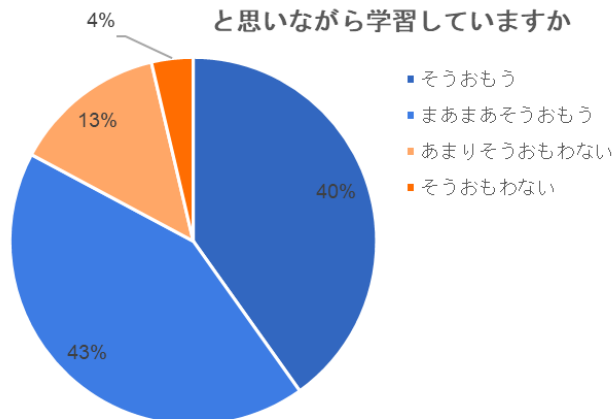
4.授業中、自分の考えを伝えたり、友だちの考えを聞いたりしていますか。

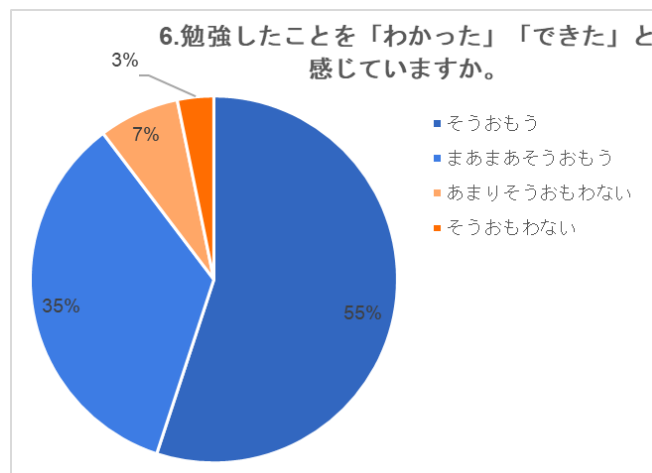
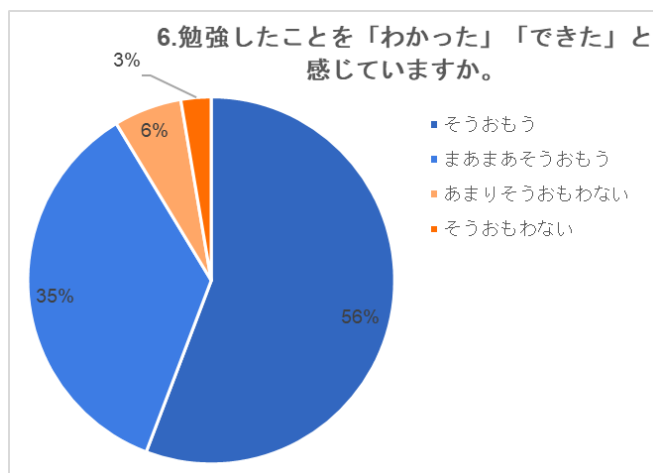


5.「なぜ」「どうして」「やってみたい」と思いながら学習していますか

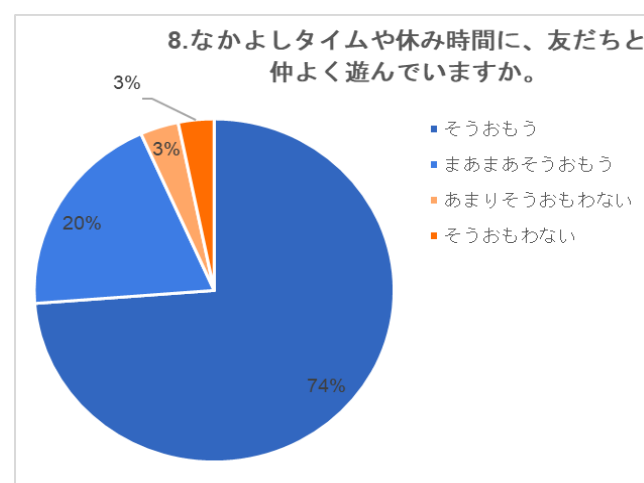
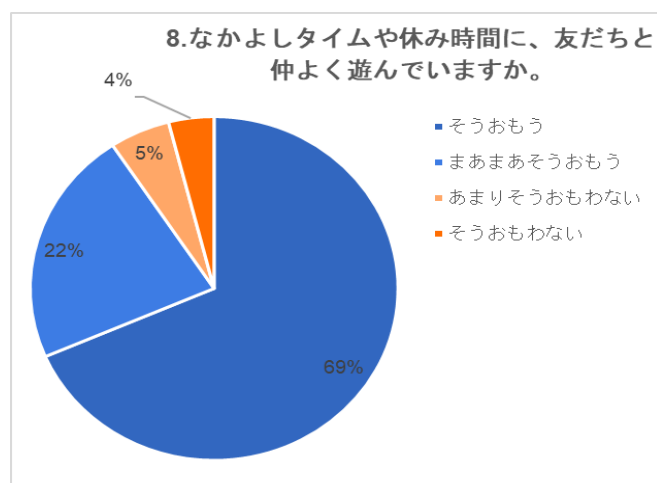
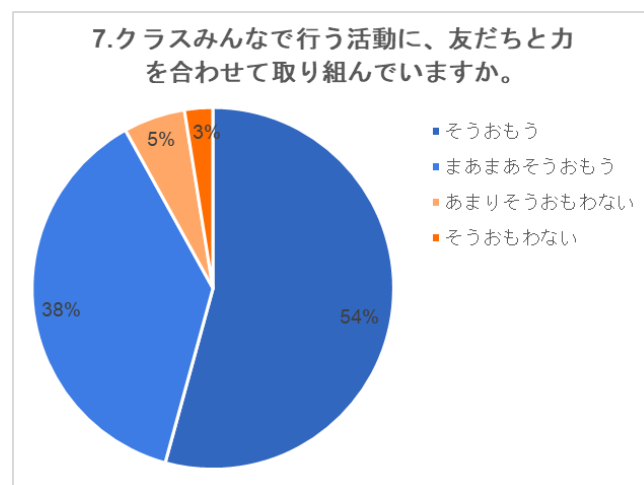
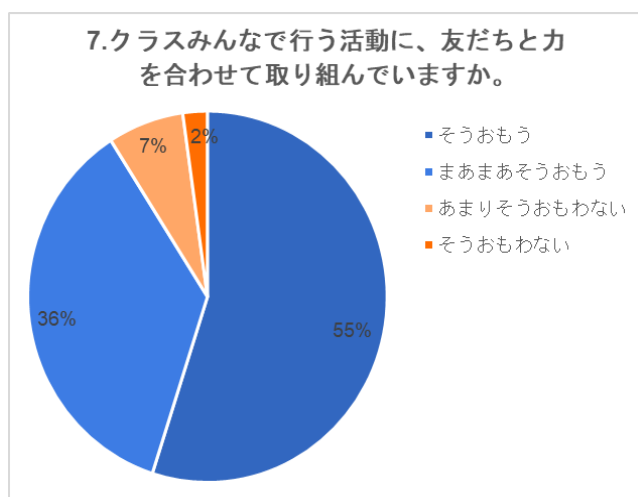


5.「なぜ」「どうして」「やってみたい」と思いながら学習していますか

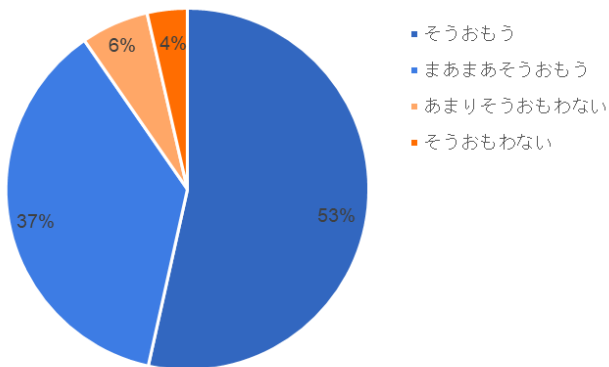




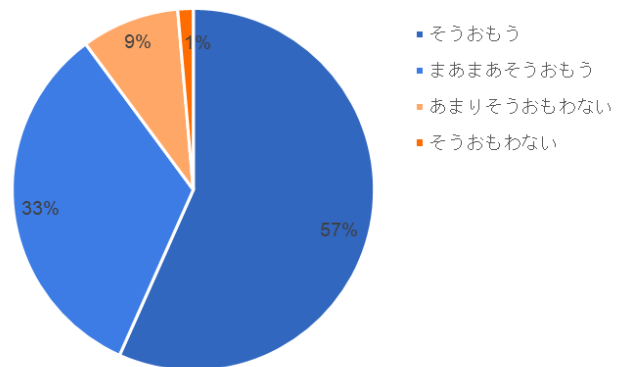
学習に対する肯定的な回答の割合が微減しています。子どもの問いを中心に据えたり、学習の学びを確かめる「振り返り」を充実させたりしながら、授業の質を高める必要があります。



9.友だちのいいところに、気づくことができますか。

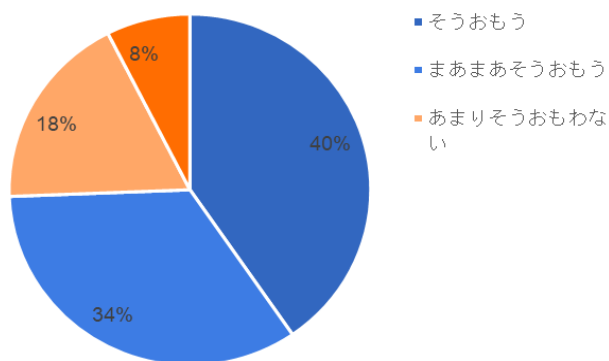


9.友だちのいいところに、気づくことができますか。

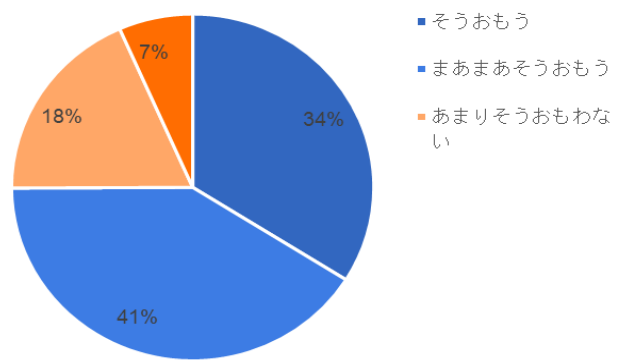


肯定的な回答の割合が増えています。あそびデイ等友だちとの関わりが増えたことで、これまで以上に友だちの良さに気づくことが増えてきたのだと考えられます。今後も友だちと関われる機会を設け、活動に取り入れていく必要があります。

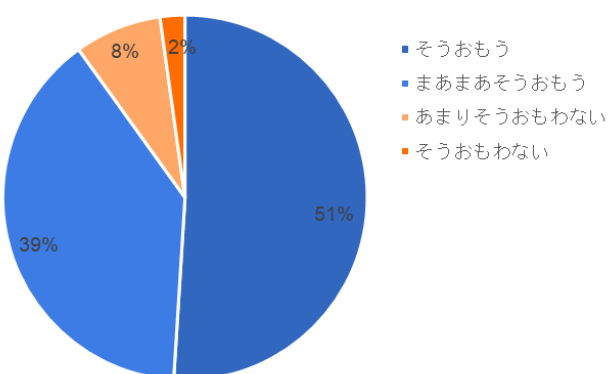
10.友だちや先生に、自分からあいさつができていますか。



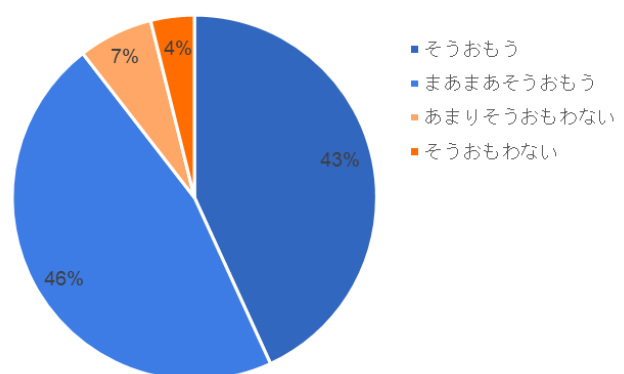
10.友だちや先生に、自分からあいさつができていますか。



11.そうじを一生懸命やっていますか



11.そうじを一生懸命やっていますか



あいさつをすることに肯定的な割合の中で、自信をもってあいさつをする子（そうおもう）の割合が低くなっているなので、あいさつがよくできている姿を職員だけでなく、地域や家庭、児童会と連携しながら発信し、あいさつをする良さに気づけるよう声かけをする必要があります。